

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中高年者世代の男女を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成17年度を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成17年10月末時点で50～59歳であった全国の男女を対象とし、そのうち、第17回調査又は第18回調査において協力を得られた者を調査客体(18,634人)とした。

第19回調査における対象者の年齢は、68～77歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回(11月の第一水曜日)

調査の期日 第19回調査 令和5年11月1日(水)

4 調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況、社会活動等の状況 等

5 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統

厚生労働省 ———— 被調査者

7 結果の集計及び集計客体

(1) 結果の集計

集計は、厚生労働省政策統括官で行った。

(2) 調査客体数等

各調査回の調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	調査年	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回調査	平成17年	50～59歳	40,877	34,240	83.8%
第2回調査	平成18年	51～60歳	35,007	32,285	92.2%
第3回調査	平成19年	52～61歳	32,195	30,730	95.4%
第4回調査	平成20年	53～62歳	30,773	29,605	96.2%
第5回調査	平成21年	54～63歳	29,548	28,736	97.3%
第6回調査	平成22年	55～64歳	28,554	26,220	91.8%
第7回調査	平成23年	56～65歳	28,137	25,321	90.0%
第8回調査	平成24年	57～66歳	26,428	24,026	90.9%
第9回調査	平成25年	58～67歳	25,261	23,722	93.9%
第10回調査	平成26年	59～68歳	24,231	22,748	93.9%
第11回調査	平成27年	60～69歳	23,485	22,595	96.2%
第12回調査	平成28年	61～70歳	22,845	21,916	95.9%
第13回調査	平成29年	62～71歳	22,253	21,168	95.1%
第14回調査	平成30年	63～72歳	21,587	20,677	95.8%
第15回調査	令和元年	64～73歳	20,903	19,931	95.3%
第16回調査	令和2年	65～74歳	20,264	19,644	96.9%
第17回調査	令和3年	66～75歳	19,765	18,999	96.1%
第18回調査	令和4年	67～76歳	19,241	18,469	96.0%
第19回調査	令和5年	68～77歳	18,634	17,875	95.9%

※第5回まで、調査員調査により実施

(3) 集計客体数

本概況では、回収客体数(17,875人)のうち、第1回調査から第19回調査まで集計可能である15,523人を集計客体とした。

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。